

広報

くどやま

2019

1月号

No.519



今年は、亥年です。よい一年でありますように!

— 丹生官省符神社 —

ジャンボ絵馬、奉納



第32回全国健康福祉祭和歌山大会
ねんりんピック紀の国わかやま2019

あふれる情熱 ばじける笑顔

2019年11月9日(土)~12日(火)

寒さも、本格的になってきましたね。

11月に開催されるねんりんピック紀の国わかやま2019なぎなた交流大会の開催1年前を記念して、2018年11月11日(日)道の駅「柿の郷くどやま」でカウントダウンボードのお披露目を行いました。

お披露目会には岡本町長はじめ、県ねんりんピック2019広報キャラバン隊やきいちゃんも駆けつけ盛大に行われました。



■問合せ

☎0736(54)2019

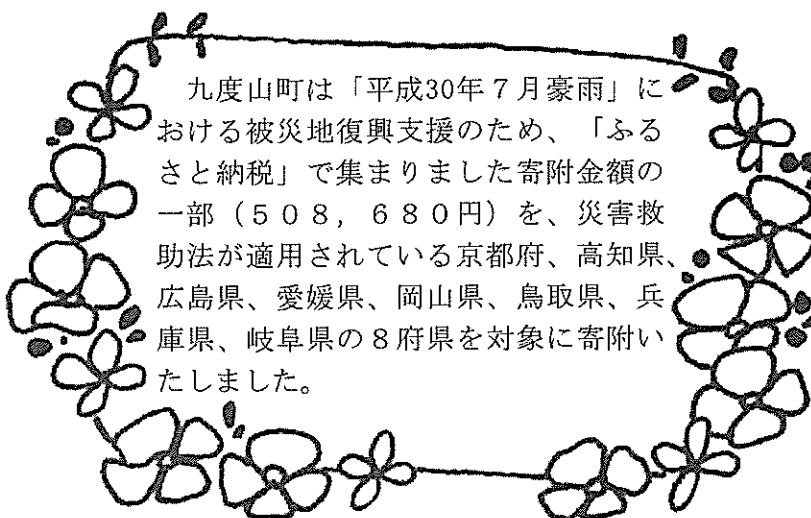
九度山町福祉課ねんりんピック推進室

寄附お礼

10月5日、御祖神社・宮司の権田玉比さん(大阪市)が本町を訪れ、「町の発展に役立ててください。」と100万円をご寄附いただきました。

権田さんには、今までも消防ポンプ積載車2台をはじめ、多くのご寄附をいただいております。

町ではこの善意に深く感謝し、町のために大切に使用させていただきます。



九度山町は「平成30年7月豪雨」における被災地復興支援のため、「ふるさと納税」で集まりました寄附金額の一部(508,680円)を、災害救助法が適用されている京都府、高知県、広島県、愛媛県、岡山県、鳥取県、兵庫県、岐阜県の8府県を対象に寄附いたしました。

第6回姉妹都市交流事業

10月27日から29日までの3日間、第6回姉妹都市交流事業として参加者40名が上田市を訪問し、上田城をはじめとする真田関連史跡や施設を見学してきました。

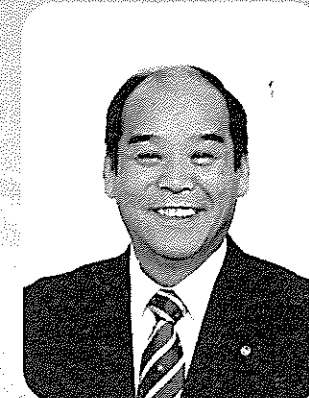
上田市の方々と交流会では、公務ご多忙の中にもかかわらず、土屋上田市長も出席くださり、姉妹都市間の交流を深めるとともに、参加者間の親睦も深めることができました。行程には、上高地・穂高・平湯温泉・飛騨高山・白川郷等も含まれ、紅葉狩りなども楽しむことができました。

姉妹都市交流事業は、平成20年度から隔年で実施しており、今回で6回目となりました。今後も事業を継続してまいりたいと考えておりますので、機会がございましたら、皆様のご参加をお待ちしております。



平成三十一年 新年のご挨拶

日本一元気な町を目指して



九度山町長 岡本 章



新年、あけましておめでとうございます。町民の皆さま方には、輝かしい新春をお迎えのことと心よりお喜び申し上げます。また、平素より町政の推進に温かいご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

昨年は、一昨年同様、相次ぐ台風に見舞われました。特に台風21号は、過去最大の倒木被害となり、停電復旧に一週間程かかりました。被害を受けられた皆さまには謹んでお見舞い申し上げます。町としましては、災害対応体制のさらなる充実に向け最大限の努力をして参る所存です。

さて、4月に行われた町長選挙により、四度、九度山町の舵取り役をお任せいただきましたことに、改めてお礼申し上げます。初心を忘れることなく、住民本位のまちづくりを引き続き推進して参ります。

昨年9、10月に開催した「くどやまアートウィーク2018」では、非常に良い作品に恵まれ、大好評を得ました。今年PRに力を入れ、より多くの方々に来ていただけるよう努めたいと考えております。

その他、「真田まつり」、「幸村杯なぎなた大会」、「将星真田幸村花火大会」、「大収穫祭」などの開催により、まちは大変賑わいました。今後も「道の駅柿の郷くどやま」をはじめとする既存施設を最大限に活用し、時機を得た対策を講じることで、九度山町を全国に情報発信して参ります。

今年、11月に開催される「ねんりんピック紀の国わかやま2019」において、本町では「なぎなた交流大会」を実施いたします。大会を成功に導くためにも、ぜひとも皆様のご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。

本年も本町を取り巻く財政環境は、依然として厳しいと予想されますが、『知恵と対話』を信念に町民の皆さまとともに知恵を出し合い、『日本一元気なまち九度山』を目指して参る所存でございます。どうか皆さま方には、引き続き格別なるお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

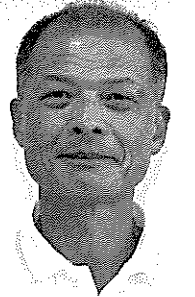
最後になりましたが、町民の皆さまのご健勝とご多幸をお祈りし、新年のご挨拶といたします。

成年生まれ 年頭によせて



2019年の町内の年男・年女は337人です。今回は亥年生まれから5名の方々に、年頭によせてのさまざまな『思い』をつづっていただきました。

「新年の抱負」



野中 浩三さん
(推出西)
昭和34年生まれ

新年明けましておめでとうございます。平成の元号が変わる新年の幕開けに五度目の「亥年」を迎えました。「へーえ！もうそんな歳になったのか。」という気持ちです。

昨年、私にとって尊敬する父が他界したため、農家の後継者として「大阪メトロ」を早期退職し、右往左往しながら母と共に農作業を行っています。昨秋は度重なる台風の襲来と、本物の「猪」にやられっぱなしでした。「亥年生まれ」として憎めないところもあり複雑な心境です。今年も諸先輩方にご指導をいただきながら今秋の収穫に向けて力を注ぎたいと思っています。

また、推出の「鬼の舞」神事の伝承やボランティア活動および消防団活動に協力し「和」を広げて行きたいです。プライベートでは、今年もロングツーリングに出かけたり、元同僚たちとの交流や九中の同級生達とのハイキング、飲み会を楽しみたいと思っています。いずれにせよ健康第一なので体力を維持し、「亥年」を良い年にしたいと思います。どちらさまにとっても、良い年でありますよう、お祈りいたします。

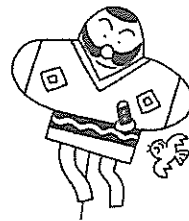
「優しい心と強い心」



平岡 由起さん
(広良)
昭和46年生まれ

新年あけましておめでとうございます。この九度山町で生まれ育ち、結婚後も慣れ親しんだこの町で生活させていただいている事にとっても感謝しています。縁あって、町内の学校で勤めさせていただいています。学校の子供たちは、小さい頃から知っている子もいて、大きくなったなあ、しっかりしたなあと感じる毎日です。

私はいつも、どんな時でも優しいだけではなく強い心ももって、強いだけではなく優しい心ももって、接する事ができる人になりたいと思っています。子供たちにも「優しい心と強い心」をもって、いろんな困難ものりこえて、自分の夢に向かって元気いっぱい成長して欲しいなあと思います。今年もどうぞよい年でありますように。



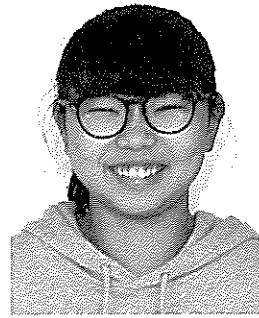
「感謝」



中西 穂乃花さん
(舟戸)
平成7年生まれ

新年明けましておめでとうございます。私は、高校卒業後、母と同じ介護職に就いています。仕事を通じ多くの人々に出会い、楽しい事、時には辛い事もありますが、利用者様の「ありがとう。」との言葉がこの仕事をやっていてよかったと思います。

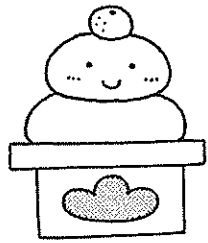
まだまだ未熟な私ですが、支えてくれる家族・上司・先輩方・友達・たくさんの方々に感謝し、少しずつでもみなさんに恩返しが出来るようにこれからも精一杯頑張っていきたいと思っています。今年も猪突猛進し、何事にもあきらめず、感謝の気持ちも忘れずに、日々成長し突き進んでいきたいと思っています。



中野 夢叶さん
(九度山小学校)
平成19年生まれ

「私の夢」

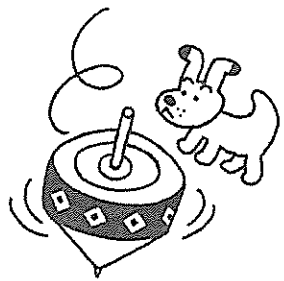
新年明けましておめでとうございます。私の将来の夢は、看護師になることです。理由は、病院に行ったときに、看護師さんが、困っている人などを助けたり、人にやさしく笑顔で接したりしているのを見て、私も人に親切にして、困っている人などを助けたいと思ったからです。今年から中学生になるので、勉強や部活を一生懸命がんばりたいです。また、友達や周りの人を大切に、笑顔いっぱいの生活していきたいです。これから、苦しいことや辛いこと、なやむことがあるかもしれませんが、何事もすぐにあきらめたりせず、最後までやりきり、夢に向かってがんばりたいと思います。



森内 司采さん
(九度山小学校)
平成19年生まれ

「僕の夢」

新年明けましておめでとうございます。僕の将来の夢は、プロサッカー選手になって、世界で活躍することです。僕は二年生の時からサッカーをやり始めました。まだチームなどではなく、サッカーを楽しむような所でした。しかし、四年生の十二月から、フットサルをやり始めました。前のときより、とてもむずかしくて、サッカーの基本がつまった場所だと感じました。今は、とても楽しいと思います。もうすぐ六年生。高学年らしく気持ちひきしめて、小学校最後の一年を、友達と楽しく過ごしたいです。



九度山小学校が人権学習の一環で、「盲導犬教室」を実施

11月27日、九度山小学校で九度山町商工会女性部の皆さんの協力により「盲導犬教室」が行われました。大阪の社会福祉法人「日本ライトハウス 盲導犬訓練所」の歩行訓練士大西風季さんを講師に迎え、盲導犬の大切さを小学4年生の子どもたちが学びました。



▲教室のようす



▲盲導犬ジョア君

冬のイルミネーションが点灯「くどやまインライトン」

今年も商工会青年部の皆さんが、入郷の児童公園にツリーのイルミネーションを設置し、12月2日から点灯されています。まだご覧になっていない方は、お出かけの際に寄ってみてください。



■イルミネーションの期間

- 点灯時間 午後5時から12時まで
- 点灯期間 1月14日まで

「緑の募金事業」を活用し、「九度山保育所 森の元気っ子事業」を実施

10月23日（火）に九度山保育所が、当該施設において「緑の募金事業」を活用し、「九度山保育所 森の元気っ子事業」を実施しました。

この事業では、園児の皆さんが間伐材を利用した木製のベンチとテーブルを作成する木工体験を行い、木のぬくもりや森林の大切さを学びました。

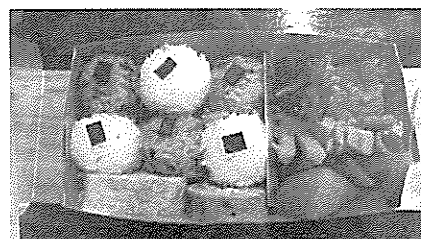


九度山中学校の生徒たちが「ふるさと学習」の一環で六文銭弁当づくりに取り組みました！

まちなか活性化の取組で全国表彰を受賞されている町内の女性グループ『真田いこい茶屋』のみなさん8名の方々にご指導いただき、中学1年生が真田氏にちなんだ名物六文銭弁当づくりにチャレンジしました。

秋も深まった昨年の11月22日、九度山中学校の1年生35名が、今年から始まったコミュニティスクール事業の一つの柱である「ふるさと学習」の一環で、『真田いこい茶屋』のみなさんに教わりながら、全校生徒と先生の分100食余りの六文銭弁当づくりに取り組みました。

学校の計画では、『真田いこい茶屋』のみなさん方にお世話になり、3年間で六文銭弁当・おっぱい弁当・町石弁当の3種類を作る計画だそうです。



▲六文銭弁当



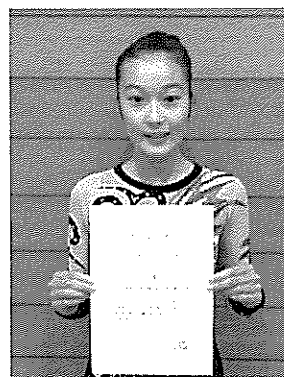
▲弁当制作中のようす

スポーツの大会において、好成績を収めましたので、お知らせします。

スポーツ

エアロビクス大会で優秀な成績

11月4日に東京都大田区総合体育館で「スズキジャパン2018全日本総合エアロビクス選手権大会」が開催され、ユース1トリオ部門で正野愛梨さん（九度山小学校6年生）が5位入賞を果たしました。



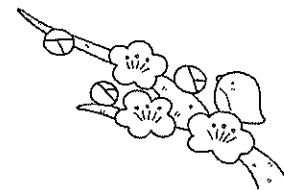
▲正野愛梨さん

「税についての作文」九度山町長賞

全国納税貯蓄組合連合会と国税庁が募集した平成30年度の中学生の「税についての作文」は、審査の結果、九度山中学校3年生の西平弥々さんの作品が九度山町長賞として選出されました。（敬称略）

中学生の「税についての作文」

- 九度山町長賞
九度山中学校 3年 西平 弥々
「税金のこれから」



町長と西平さん▶



「税金のこれから」

にしひら やや
九度山中学校 三年 西平弥々

「税金」、私の身近にある「税金」は、スーパーで食品を買ったり、友達と遊びに行つて服を買ったときに払う「消費税」、家族でいえば「所得税」や「住民税」などです。

私は、これらの税金がいったい何に使われているのか調べてみると、私達が納めた税金で、風邪をひいたり、けがをしたりして病院で手当してもらったときにかかった金額の一部に使われていたり、年金の一部、介護サービスを利用したときにかかる金額の一部にも税金が使われ、私達中学生に身近なものでいえば、教育費などに使われていることが分かりました。もし、税金がなかったら、そう考えると、私達が今、不自由なく勉強ができていのも税金がなくなると親の負担も大きくなり、学校へ行けなくなる子もたくさんでくるんだろうと思いました。今まで何も思わずに教科書を使っていたけど税金によって無償で私達に支給されている、改めて考えると本当に感謝して大切に使うなければならないなと思いました。

しかし、課題もあることが分かりました。一つ目は国の政策や事業は、国の経済状態や国民の生活のために、歳入が不足していても、タイミングよく行わなければならないものもあります。そこで、歳入の不足を補うために国は国債を発行して、公債金という借金で収入を得ています。公債残高は年々、うなぎのぼりに増えています。

二つ目は、少子高齢化です。この問題は、社会保障の費用が増えていくことと、その費用を負担する働き手が減っていつていることです。

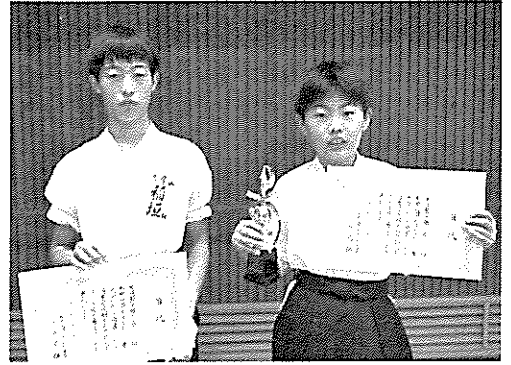
これらの課題をどのようにして解決するか考える必要があります。日本の消費税は、一九八九年に導入され、税率三パーセントからスタートしました。それから、五パーセント、八パーセントと上がり、次は十パーセントになるといいます。私には、消費税を上げることで税収を増やすということしか思い浮かびません。もう一つ、社会保障制度をなくす、ということも考えましたが、社会保障制度をなくすと高齢化社会の日本ではたくさんの人が生活を苦しむだけでなく、私達の老後にも不安があると思いました。

私にはまだ、消費税を上げるくらいしか解決策は思い浮かばないけど、これからは、少しずつでも知識をつけながら、他に解決策がないか考えると共に、税金によって自分達の生活が助けられているということに気がきました。これからは、税金に対する考えを変えようと思いました。

なぎなた大会で優秀な成績

11月3日（土）、4日（日）に新宮市の近大新宮高校体育館で、和歌山県なぎなた秋季大会が開催されました。（敬称略）

- 小学生個人の部
優勝 稲垣 晴哉（九度山教室）
- 中学生演技の部
第2位 稲垣 雄哉・南出チーム（九度山教室・県教室）



▲稲垣雄哉さん（左）、晴哉さん（右）

空手大会で優秀な成績

11月4日（土）に第22回 有田市スポーツ少年団空手道大会《オレンジ杯》が有田市民体育館で開催されました。（敬称略）

- 小学六年生女子 個人組手
第3位 中野 夢叶（九度山小学校6年）



▲中野さん（中央）

サッカーで優秀な成績

10月27日（土）に開催された橋本市民総合体育大会において、九度山小学校の児童が所属する少年サッカーチーム（西部キッカーズ）が高学年、低学年共に優秀な成績を収めました。（敬称略）

- 少年サッカーの部
高学年（6年生以下） 準優勝
低学年（4年生以下） 優勝



日本拳法九度山支部が優秀な成績

10月28日（日）に富田林市立喜志小学校・体育館で「第39回 日本拳法吾友会大会」が開催され、日本拳法九度山支部が優秀な成績を収めました。（敬称略）

- | | |
|------------------------------------|-----------------------|
| ●中学1年生の部
第2位 小川 伸太郎
第3位 新宅 央 | ●小学2年生の部
第3位 小川 喜信 |
| ●小学6年生の部
優勝 小川 裕貴 | ●幼児の部
優勝 福井 湊人 |

